

F-4-2	平成 14 年度の解約総数		
	10 件未満	380	50
	10 件以上 50 件未満	265	35
	50 件以上 100 件未満	29	4
	100 件以上	11	1
	NA	57	8
F-5-1	平成 15 年 2 月末現在の利用者数		
	10 人未満	88	12
	10 人以上 50 人未満	307	41
	50 人以上 100 人未満	200	26
	100 人以上 200 人未満	103	14
	200 人以上 300 人未満	20	3
	300 人以上	18	2
	NA	15	2
F-5-4	平成 15 年 2 月 1 人 1 週間平均利用時間		
	2 時間未満	30	4
	2 時間以上 4 時間未満	203	27
	4 時間以上 6 時間未満	247	33
	6 時間以上 8 時間未満	107	14
	8 時間以上	82	11
	NA	49	6
F-6	利用者の要介護度の最多介護度区分		
	要支援	27	4
	介護度 1	478	63
	介護度 2	77	10
	介護度 3 以上	81	11
	NA	18	2
F-8-1	介護福祉士の有無		
	1. 有り	537	71
	2. 無し	208	27
F-8-2	3 級ヘルパーの有無		
	1. 有り	187	25
	2. 無し	559	74
F-8-3	非常勤割合		
	1. 半数以上	563	74
	2. 半数以下	176	23

図1 平成15年2月末現在の利用者数

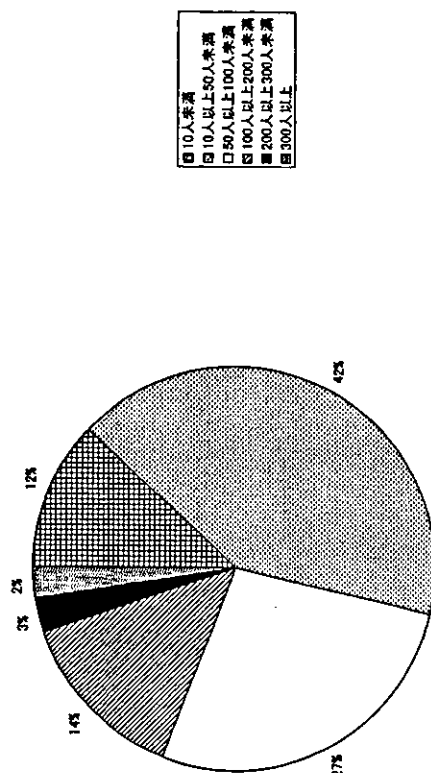


図3 同一事業者と居宅介護支援契約を締結している利用者の割合

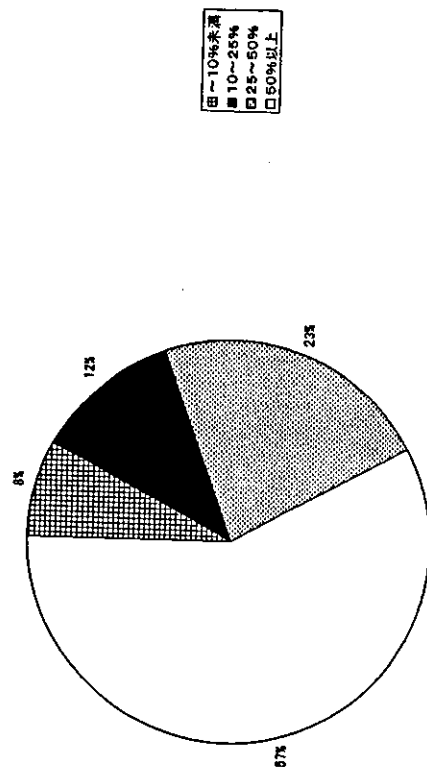


図2 平成15年2月の1人当たり週平均利用時間

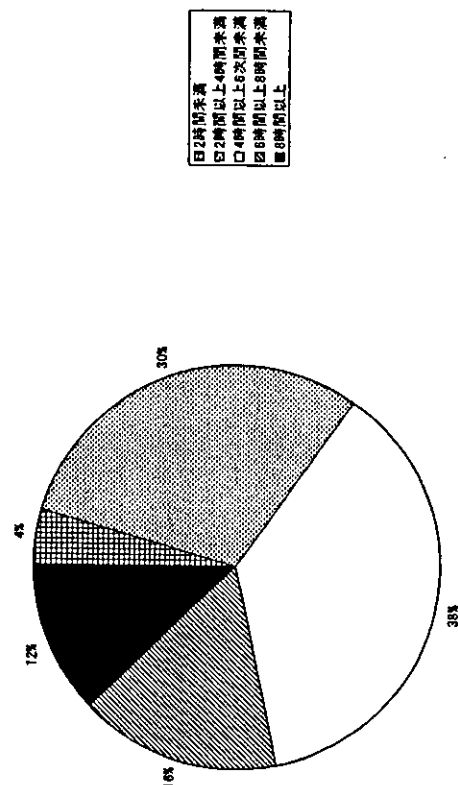


図4 契約内容を説明する相手方

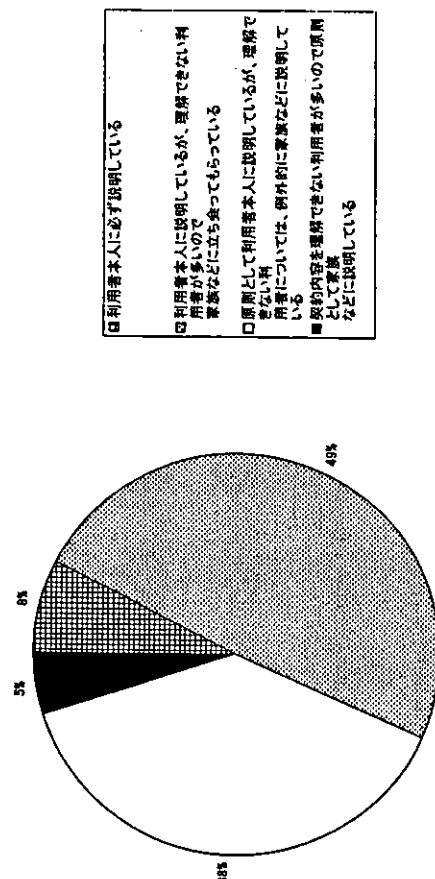
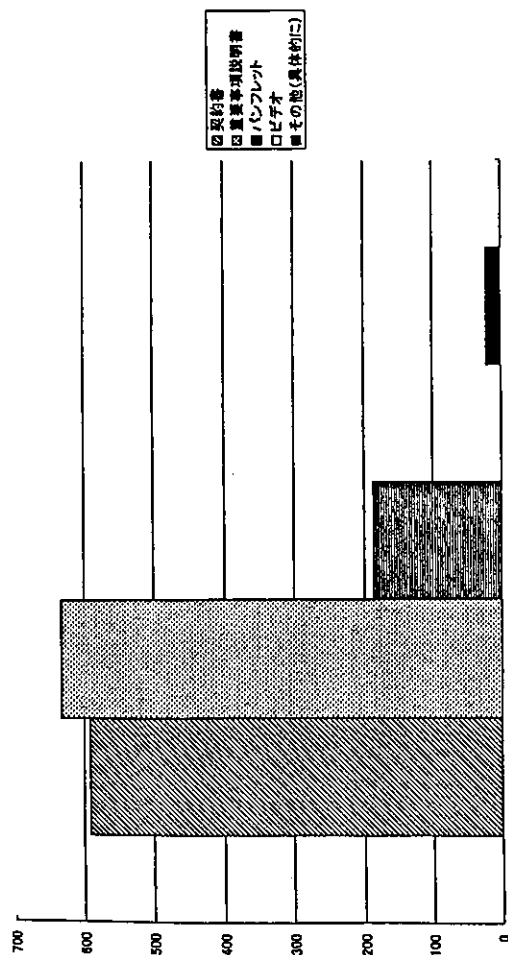
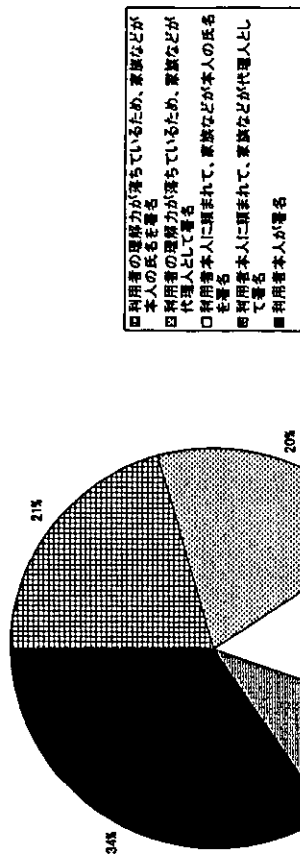


図5 契約内容説明の際役立っているもの



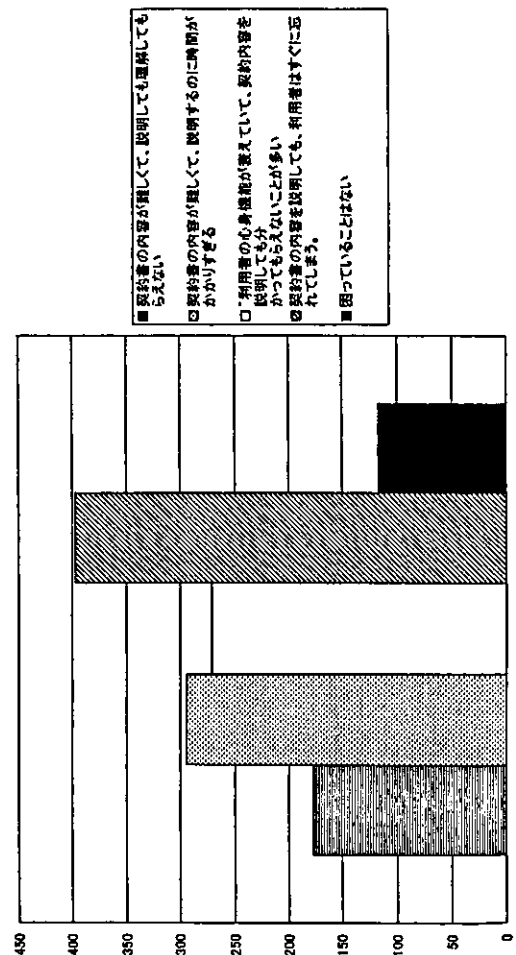
①契約書  
②重要事項説明書  
③パンフレット  
④ビデオ  
⑤その他(具体的に)

図7 契約書の署名者



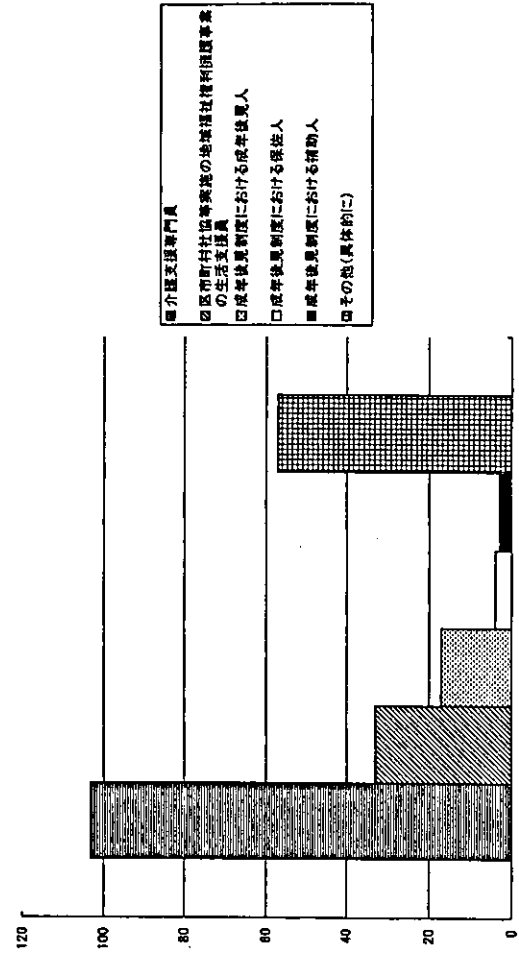
利用者の理解力が落ちているため、家族などが本人の氏名を署する  
利用者の理解力が落ちているため、家族などが本人の氏名を署する  
利用者の理解力が落ちているため、家族などが本人の氏名を署する  
利用者の理解力が落ちているため、家族などが本人の氏名を署する  
利用者の理解力が落ちているため、家族などが本人の氏名を署する  
利用者の理解力が落ちているため、家族などが本人の氏名を署する

図6 契約締結時に困っていること



①契約書の内容が難しく、説明するのに時間がかかりすぎる  
②利用者の心身機能が落ちていて、契約内容を説明しても分からないことが多い  
③契約書の内容を説明しても、利用者はすぐに忘れてしまう  
④困っていることはない

図8 家族以外で契約書に署名した者



①区町村福祉等実施の地域福祉増進利用促進事業の生活支援員  
②成年後見制度における成年後見人  
③成年後見制度における保佐人  
④成年後見制度における補助人  
⑤その他(具体的に)

図9 利用者から聞かれる契約項目

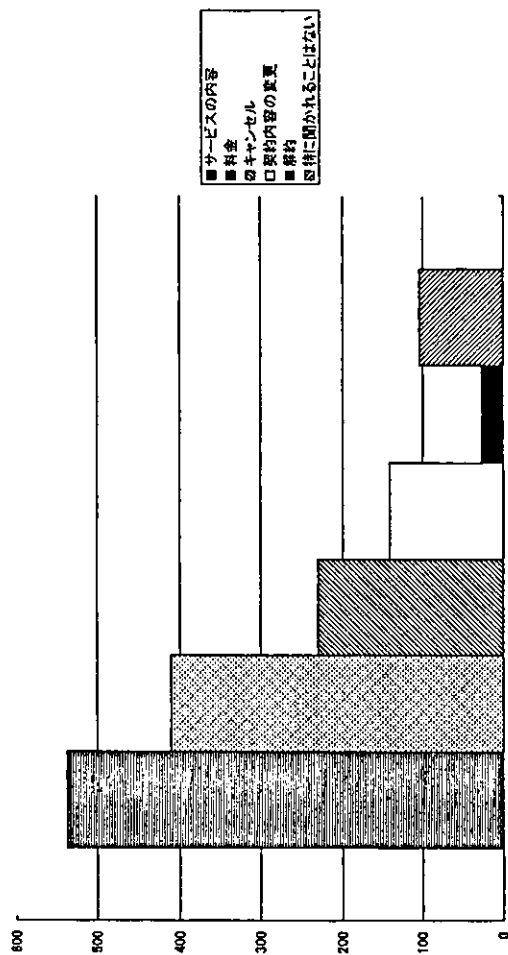


図11 サービス内容で問題となった項目

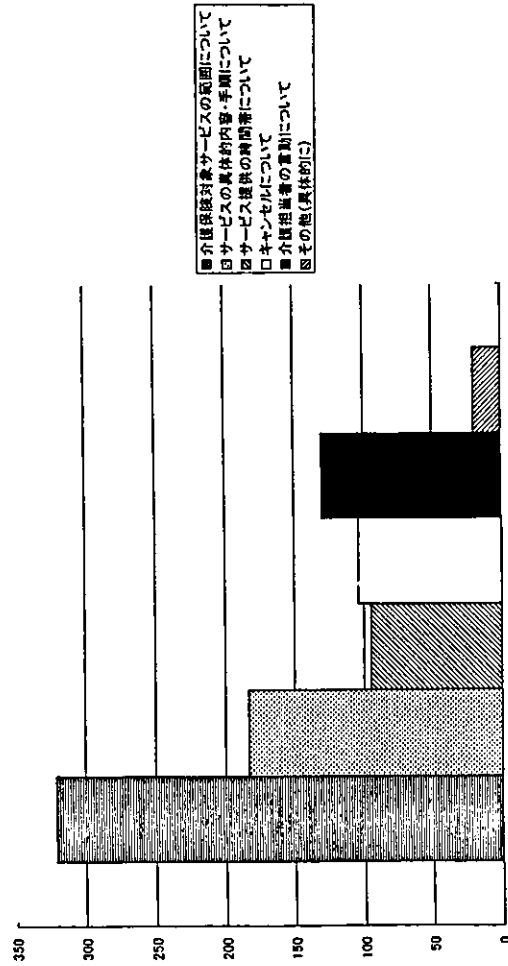


図10 重点的に説明する契約項目

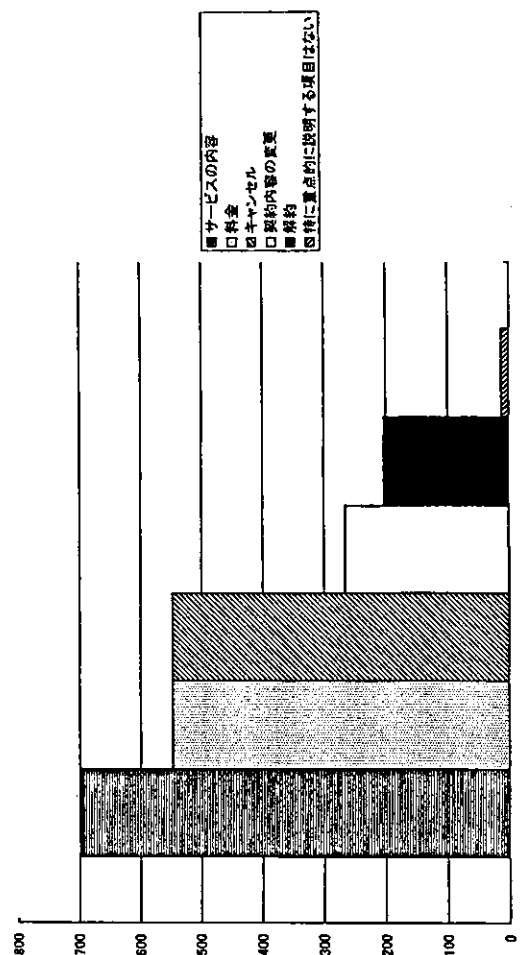


図12 サービス内容が問題となったときの対応

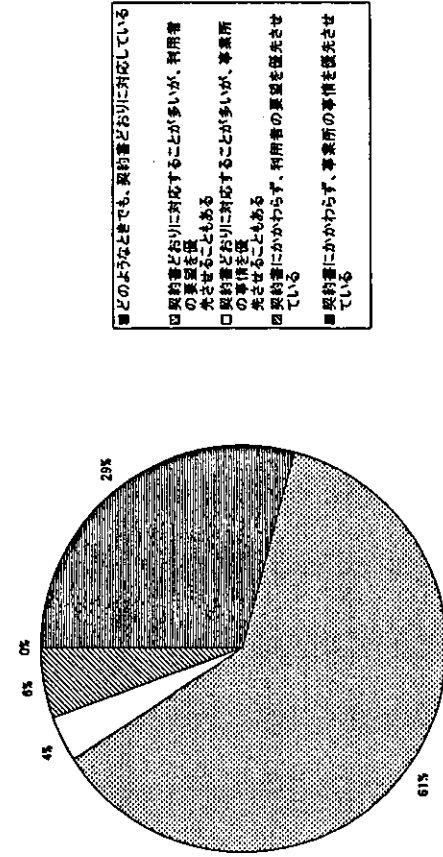
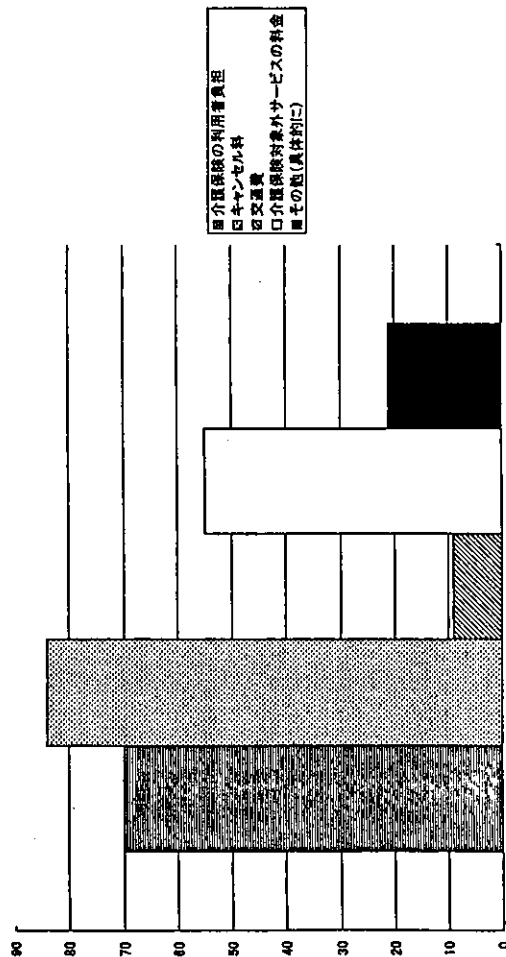
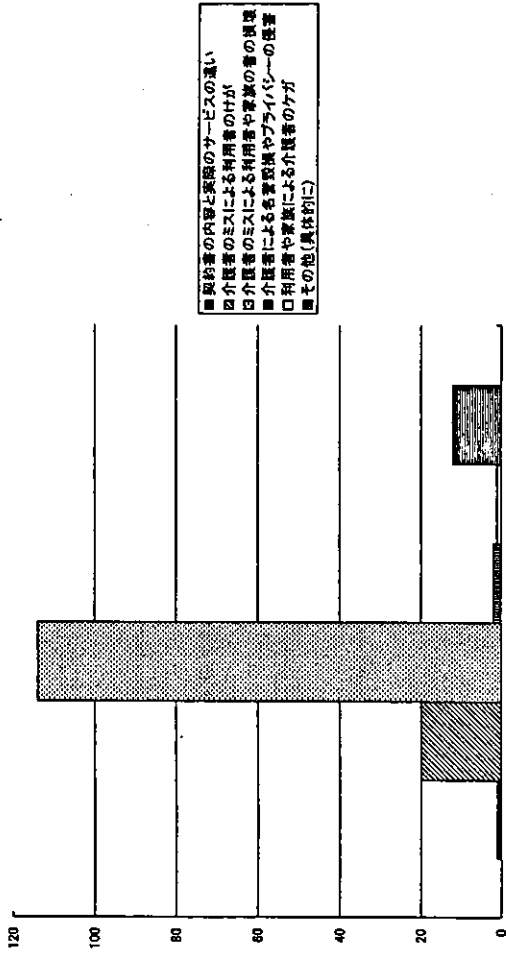


図13 利用料金に関して問題となった項目



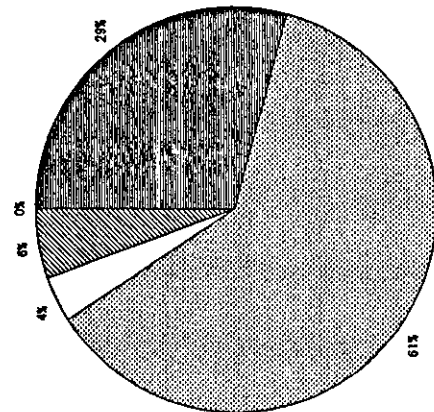
サービス利用の導入料  
サービス料  
サービス利用の導入料  
サービス利用の導入料  
その他(具体的に)

図15 損害賠償が問題となった項目



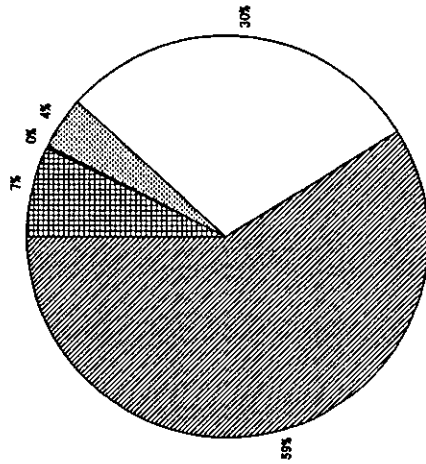
サービス内容や範囲の違い  
サービス内容や範囲の違い  
サービス内容や範囲の違い  
サービス内容や範囲の違い  
その他(具体的に)

図14 利用料金が問題となったときの対応



どのようなときでも、契約書と対応している  
契約書と対応していることが多いが、利用者の要望を  
満たすこともある  
契約書と対応していることが多いが、事業者の要望を  
満たすこともある  
契約書と対応していることが多いが、利用者の要望を  
満たすこともある  
契約書と対応していることが多いが、事業者の要望を  
満たすこともある

図16 損害賠償が問題とならなかった理由



契約書で損害賠償できる損害の種類、内容を明  
示しているから  
契約書で損害賠償の小さなものは責任を負わない  
ものと明示して  
いるから  
契約書で事業者側に重大な責任がある場合に  
のみ賠償するもの  
と定めているから  
損害賠償責任が保障されているから  
事業者やトラブルが起ったことではないから

資料2

介護保険の契約書に関するアンケート

介護保険の利用契約書に関して、以下の質問にお答えください。

Q1 貴事業者が介護保険の利用契約書として最初に作成した契約書のベースとなっている様式はどれですか。1つだけ○を付けてください。

- 1 東京都版
- 2 かながわ版
- 3 名古屋市（名古屋弁護士会）版
- 4 神戸市版
- 5 （社）シルバーサービス振興会
- 6 （社）全国社会福祉協議会
- 7 日本弁護士連合会
- 8 その他（具体的に ）

Q2 Q1の様式を選択した主な理由は何ですか。1つだけ○を付けてください。

- 1 他の様式のことを知らなかったから
- 2 他の様式のことを入手できなかったから
- 3 東京都の施設または事業所だから
- 4 社会福祉法人だから
- 5 事業者団体の作成したものだから
- 6 その他（具体的に ）

Q3 Q1で「1 東京都版」と答えた事業者にお聞きします（それ以外の事業者は、Q4に進んでください）。東京都版の契約書モデルをどのように利用していますか。1つだけ○を付けてください。

- 1 契約書モデルをそのまま利用している。
- 2 契約書モデルの一部を変更して利用している（Q3-1、Q3-2へ）。
- 3 契約書の作成にあたって、モデルとして参考にした。
- 4 その他（具体的に ）

Q3-1 Q3で「2 一部変更して利用している」と答えた事業者にお聞きします。東京都版の契約書モデルで変更した項目すべてに○を付けてください。

- 1 契約の目的
- 2 契約期間
- 3 サービス内容
- 4 サービス提供記録
- 5 料金
- 6 サービスの中止
- 7 事業者からの解約事由
- 8 利用者からの解約事由
- 9 事業者の損害賠償責任

- 10 相談・苦情対応
- 11 緊急時の対応または連絡義務
- 12 その他（具体的に

)

Q3-2 その変更理由は何ですか。該当するものに○を付けてください（複数回答可）。

- 1 表現が難しい
- 2 表現が不適切
- 3 利用者に対する説明が難しい
- 4 事業者にとって不必要な項目だから
- 5 利用者にとって不必要な項目だから
- 6 その他（具体的に

)

Q4 平成 15 年 4 月に国の介護報酬および運営基準が改定されたことに伴い、契約書または契約書別紙を変更しましたか。いずれかに○を付けてください。

- 1 全面改訂（参考にした様式があれば、具体的に
- 2 一部変更（Q5 へ）
- 3 変更なし（Q6 へ）

)

Q5 Q4 で「2 一部変更」と答えた事業者にお聞きします。契約書または契約書別紙で変更した項目すべてに○を付けてください。

- 1 契約の目的
- 2 契約期間
- 3 サービス内容
- 4 サービス提供記録
- 5 料金
- 6 サービスの中止
- 7 事業者からの解約事由
- 8 利用者からの解約事由
- 9 事業者の損害賠償責任
- 10 相談・苦情対応
- 11 緊急時の対応または連絡義務
- 12 その他（具体的に

)

Q6 Q4 で「3 変更なし」と答えた事業者にお聞きします。変更しなかった主な理由は何ですか。1 つだけ○を付けてください。

- 1 変更する必要がないと思ったから
- 2 東京都版の契約書モデルが変更されなかったから
- 3 どう変更したら良いか分からなかったから
- 4 手間隙がかかりすぎるから
- 5 費用がかかりすぎるから
- 6 その他（具体的に

)

Q7 現在、利用している契約書で改善が必要だと思う箇所があれば、具体的に書いてください。

## 介護保険の契約書に関するアンケート集計

研究協力者 高橋大輔 筑波大学大学院博士課程

### I. 訪問介護事業所

アンケート回答数：21

#### Q. 1

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他
回答数	16	0	0	0	1	1	0	2(*1)	1(*2)

(\*1)内容

- ・法人独自のもの。
- ・NPO法人ACTネットワークによる地方行政区たすけあいワークズをベースに作成。

(\*2)複数回答 1 通

- ・1、7 を選択。

#### Q. 2

選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数	3	0	10	1	4	3(*3)

(\*3)内容

- ・最も分かりやすい書式だったため。
- ・モデル契約書以前に作成、限定化したため。
- ・最も使いやすいと考えたから。

#### Q. 3

選択肢	1	2	3	4	その他
回答数	8	5	3	0	1(*4)

(\*4)複数回答 1 通

- ・2、4 を選択。4 の内容は「事業団体で変更していると考えられる」との回答。

#### Q. 3 - 1

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回答数	0	1	3	0	3	3	1	1	0	2	2	1(*5)

(\*5)内容

- ・契約書別紙は重要事項説明書に含めました。

#### Q. 3 - 2

選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数	3	1	2	0	0	2(*6)

(\*6)内容

- ・当時業所の規定に沿うように変更。
- ・利用者との相談が必要な項目のため、別紙とした。



Q. 4

選択肢	1	2	3
回答数	3(*7)	14	4

(\*7)内容

- ・シルバーサービス振興会、東京都版、かながわ版、神戸市版。
- ・東京都版。

Q. 5

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回答数	0	0	8	0	12	0	0	0	0	0	0	2(*8)

(\*8)内容

- ・契約書別紙全体の書式。
- ・職員体制、サービス提供時間。

Q. 6

選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数	3	0	0	0	0	1(*9)

(\*9)

- ・重要事項説明書を変更。

Q. 7

・苦情窓口ー現在は、事業所に設置された窓口番号と担当者を明記している。今後は、国保連や都道府県レベルの窓口の明記も検討している。

・契約者名欄の代理人の扱いは成年後見制度に基づくと後見人というタイトルになる。

・①どうしても枚数が多くなり、説明しても理解しにくい場合も出てくる。基本的に利用者側が介護保険について何も知らない事が多く、(特に料金面について。介護保険の料金が全てもらえると思っている事もあった)行政がもっとわかりやすいパンフレット等を作成してあると良いと思う。行政以外の発行しているものでは信用しないときもある。

②質問からそれるが、モデル契約書が改定された場合、何らかの形で知らせて頂ければと存じます。

- ・利用者にとって、非常に理解しにくく、形式化していると思われる。しかし、「契約」という、法的な手続きである事を考えるとどの様に改善してよいのかわからない。

## Ⅱ. 介護施設の契約書

アンケート回答数：32

### Q. 1

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他
回答数	23	0	0	0	0	2	0	5(*1)	2(*2)

#### (\*1)内容

- ・オリジナル。 ・施設独自。
- ・数法人で検討し独自作成。 ・荒川区より指定のもの。
- ・東京都北区として同様書式(ベースは不明)。

#### (\*2)複数回答 2 通

- ・1、8を選択。8の内容は「日弁連とのミックス」。
- ・1、6、7、8を選択。8の内容は「上記3点を参考に施設独自に作成」。

### Q. 2

選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数	2	0	18	1	1	9(*3)

#### (\*3)内容

- ・他施設の話しを参考にさせて頂いた。
- ・説明会もあり、内容も良いと思えたから。 ・独自案。
- ・H12年は区立ホームであった為。
- ・区内法人の代表者が集まって検討、決定した。
- ・荒川区立のため。 ・民設民営としてのリスク回避のため。
- ・行政からの指示。
- ・東京都内の施設なので東京都版を参考にした。

### Q. 3

選択肢	1	2	3	4
回答数	6	4	12	0

#### Q. 3 - 1

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回答数	0	0	2	1	3	0	1	0	0	0	0	2(*4)

#### (\*4)内容

- ・契約別紙をなくしている。

#### Q. 3 - 2

選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数	1	0	1	0	0	4(*5)

#### (\*5)内容

- ・実情に合わせた表現とした。
- ・重要事項説明書で細部を説明しているので、契約書に「重要事項のとおり」とし、複雑になることを防止した。従って契約書と重要事項説明書をセットで渡している。
- ・日用品等単価を入れた。
- ・契約書別紙は重要事項説明書と重複する為。

Q. 4

選択肢	1	2	3	その他
回答数	5(*6)	21	4	1(*7)

(\*6)内容

- ・東社協老人福祉部会。
- ・東社協施設管理検討委員会。
- ・厚生労働省老健局事業運営基準担当者会議資料。

(\*7)内容

- ・平成 15 年開設のためなし。

Q. 5

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回答数	0	1	7	0	22	0	2	2	1	4	5	3(*8)

(\*8)内容

- ・文言の整理、未契約期間の取扱明記等。
- ・裁判管轄条項を削除。
- ・日用品費等自己負担の徴収について。

Q. 6

選択肢	1	2	3	4	5	6
回答数	2	1	1	0	0	0

Q. 7 【特に記述はなかった。】

資料3-1 訪問介護に関する契約書の分析結果

(研究協力者：三輪まどか 横浜国立大学大学院博士後期課程)

	1	2	3	4	5	6
第1条 契約の目的	△ サービス提供についての み触れる	△ 書面交付 義務の明示	◎	◎	◎	◎
第2条 契約期間	△ 1週間前ま で、急変の場合	△ 自己負担に よるサービス提 供規定、1週間 前告知	○ 30日前告 知	◎	◎	○ 1ヶ月前告 知
第3条 訪問介護計画	△ 計画変更につ いての定め	△ 第4条と合 わせて規定	◎	◎	◎	△ 2項なし
第4条 訪問介護の内容	△ 計画変更につ いての定め	△ 第3条と合 わせて規定	◎	◎	◎	◎
第5条 サービス提供の記録	△ 交付規定な し	△ 代理人、家 族への説明義 務規定	◎	◎	◎	◎
第6条 料金	△ 法令の変 更の場合の規 定あり	△ 遅延損害 金の定め	◎	◎	◎	◎
第7条 サービスの中止	△ 5時30分ま でに、急変の場 合	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	◎	◎	◎	◎
第8条 料金の変更	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	○ 30日前	◎	◎	◎
第9条 契約の終了	△ それぞれの 条項を独立した 条項として規定	△ 1年以上利 用がない場合、 転居の場合の 規定	○ 30日前告 知	◎	◎	◎
第10条 秘密保持	◎	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	◎	◎	◎	◎
第11条 賠償責任	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	△ 損害賠償 責任保険への 加入規定	◎	◎	△ 重過失規 定あり
第12条 緊急時の対応	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	◎	◎	◎	◎
第13条 身分証携行義務	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	◎	◎	◎	◎
第14条 連携	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	◎	◎	◎	◎
第15条 相談・苦情対応	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	◎	◎	◎	◎
第16条 本契約に定めのない事項	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	◎	◎	◎	◎
第17条 裁判管轄	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	○ 文言の違い (趣旨は同じ)	◎	◎	◎	◎
契約当 事者	事業者、利用 者、(代理人)	事業者、利用 者、代理人、家 族(選択欄)	事業者、利用 者	事業者、利用 者、(代理人)	事業者、利用 者、代理人	事業者、利用 者、代理人
備考	サービス従事 者の規定、法 律的な定め方 であるが、モデ ル契約書よりは やわらかい用 語	全体的に、文言 が口語調。法 律用語はでき るだけ使用し ない。		フォントが14pt、 楷書体		代理人規定(1 8条)

7	8	9	10	11	12	13	14
△ 認定審査会の判断を仰ぐ旨の規定	◎	◎	◎	× 規定なし	◎	◎	◎
△ 7日前告知、要介護認定の有効期間内規定	◎	○ 1ヶ月前告知	◎	× 規定なし	◎	○ 7日前	◎
△ 計画の変更についての規定	◎	△ サービス区分変更についての要請規定	◎	× 規定なし	◎	◎	△ ケアプランが作成されていない場合の条項があり
△ 5条と合わせて規定	◎	◎	◎	× 類似の規定あり	◎	◎	△ それぞれの条項を独立した条項として規定
× 後見人等により閲覧可能(有償)	◎	◎	◎	× 規定なし	◎	◎	△ 義務規定の中にあり
△ キャンセル料についての規定あり	◎	△ 新たな認定の場合の料金規定、認定がなされない場合の料金規定	△ 領収書発行についての規定なし。	× 類似の規定あり(料金、引落口座、交通費、金銭預り)	◎	◎	△ 料金算出方法について詳細な規定あり
× 規定なし	◎	◎	◎	× 類似の規定あり(中止、中止の連絡)	◎	◎	△ 中止、追加、変更について具体的に規定
× 規定なし	◎	◎	◎	× 規定なし	◎	◎	△ 詳細な説明
△ それぞれの条項を独立した条項として規定	◎	◎	◎	× 類似の規定あり(終了事由、自動更新)	△ 転出の場合の規定	◎	
△ 2項なし。	◎	◎	△ 2項なし。文書で同意をとる規定なし。	× 類似の規定あり(守秘義務と余後効)	◎	◎	△ 守秘義務、事業者の義務、禁止行為
△ 里過失規定あり	◎	◎	◎	× 免責条項あり	◎	◎	△ 免責条項あり
◎	◎	◎	◎	× 規定なし	◎	◎	× 秘密保持欄の事業者義務に含まれる
× 規定なし	◎	◎	◎	× 規定なし	◎	◎	× 規定なし
△ 文言の違い(趣旨は同じ)	◎	◎	△ 写しの交付規定なし。	× 規定なし	◎	◎	× 秘密保持欄の事業者義務に含まれる
△ 苦情対応のみの定め	◎	◎	◎	× 規定なし	◎	◎	◎
△ 協議事項として定めるのみ	◎	◎	◎	× 規定なし	◎	◎	◎
△ 熊本地方裁判所	◎	◎	◎	× 規定なし	◎	◎	× 規定なし
事業者、利用者、代理人(選任した場合)	事業者、利用者	事業者、利用者、代理人	事業者、利用者、代理人	請負会社、請負契約申込者、利用者	利用者、代理人	利用者、代理人	事業者、利用者
運営規程の概要(3条)、担当の訪問介護員(5条)、利用者の協力義務(8条)、利用者代理人(18条)の規定あり		代理人規定(18条)	独自規定(天災等不可抗力の場合のサービス提供について(10条)、訪問介護員の禁止行為(12条))	全くのオリジナル契約書であり、「介護サービス請負契約書」の記載。利用者の告知義務、免責条項等の規定あり			ケアプラン未作成の場合の規定(3条)、訪問介護員の禁止行為(14条)、清算の規定(22条)

15	16	17	18	19	20	21	22
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
◎	○ 7日前告知	◎	◎	◎	◎	◎	◎
◎	◎	◎	△ 介護保険の内容を詳しく	◎	◎	◎	× ケアプラン作成から書面交付まで一括した条項
◎	◎	◎	△ 分散して、詳細な規定	◎	○ (看護師)	◎	×
◎	◎	◎	◎	△ 1項にて書面交付の条項なし。	△ 1項にて書面の交付条項なし。	◎	× 規定なし
◎	◎	◎	× 規定なし	△ 領収書の発行について規定なし。	◎	◎	× 介護保険の内容説明含む
○ 前日17時までに	○ 2日前までに	◎	× 規定なし	◎	◎	○ 前日17:30までに	× 利用の中止、変更、追加
◎	× 本条項なし	◎	× 規定なし	◎	◎	◎	× サービス変更とともに
◎	◎	◎	△ 解除と解約	◎	◎	◎	△ 規定内容が異なり詳細
◎	◎	◎	◎	◎	△ 3項なし。家族についての秘密保持義務なし。	◎	△ 事業者及び従事者の義務規定
◎	◎	◎	△ 重過失免責条項	◎	◎	◎	△ 損害賠償の制限
◎	◎	◎	× 規定なし	◎	◎	◎	△ 事業者及び従事者の義務規定
◎	◎	◎	× 規定なし	◎	◎	◎	× 規定なし
◎	◎	◎	× 規定なし	◎	◎	◎	△ 事業者及び従事者の義務規定
◎	◎	◎	△ 不利益取扱禁止規定	◎	◎	◎	◎
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
◎	◎	◎	× 事業者	◎	◎	◎	× 規定なし
事業者、利用者、(代理人)	事業者、利用者、(代理人)	事業者、利用者、(代理人)	利用者、署名代行者、事業者	事業者、利用者、(代理人)	事業者、利用者、(代理人)	事業者、利用者、(代理人)	説明者署名欄、事業者、契約者
			より簡素な契約書、苦情処理における不利益取扱禁止規定(13条)				ケアプラン作成業務についての規定(3条)、訪問介護員の禁止行為(15条)、精算の規定(23条)

◎ : 全く同じ  
 ○ : ほぼ同じ  
 △ : 少し違う  
 × : 全く違う  
 : 同じ文言  
 : 数字を変えているもの  
 : 文言や条文を変えているもの  
 : 全く異なるもの

23	24	25	26	39
◎	◎	◎	◎	◎
○ 7日前告知	◎	◎	◎	○ 終了日前までに
◎	◎	◎	△ 変更があった場合の条項	◎
◎	◎	◎	△ サービス内容のみ	◎
◎	◎	◎	× 事業者の義務の中に	◎
◎	◎	◎	△ 介護保険の内容説明含む	△ 5項だてを3項だてに。振込手数料利用者負担
△ 取消料規定	◎	◎	× 利用の中止、変更、追加	◎
◎	◎	◎	○ 1割負担	◎
◎	◎	◎	△ より簡易	◎
◎	◎	◎	△ 事業者の義務の中に	◎
◎	◎	◎	◎	◎
◎	◎	◎	◎	◎
◎	◎	◎	◎	◎
◎	◎	◎	◎	◎
◎	◎	◎	◎	◎
◎	◎	◎	◎	◎
◎	◎	◎	◎	◎
◎	◎	◎	◎	◎
利用者、利用者代理人、事業者	事業者、利用者、代理人	事業者、利用者、(代理人)	事業者、利用者、代理人	事業者、利用者、(代理人)
			事業者の基本的義務の規定(7条)、事業者の具体的義務の規定(8条)	

資料 3-2 施設に関する契約書の分析結果（研究協力者：大窪高志 早稲田大学大学院博士後期課程）

※タテ列：各事業者契約書に割り振った番号 ※ヨコ列：モデル契約書の条項とその内容

	前文	1 目的	2 期間	3 サー ビス計 画面	4 サー ビス内 容	5 サー ビス申 請援助	6 サー ビス提 供記録	7 料金	8 契約 終了	9 退所 時援助	10 秘密 保持	11 賠償 責任	12 連絡 義務	13 相談 苦情対 応	14 本契 約に定 めのな い事項	15 裁判 管轄	その他 独自条 項
1	○ 「介護 福祉施 設サー ビス」と 表記	◎	○ 西暦を 使用	△ 3項「事 前に利 用者そ の家族 と面接 を行い」 の文言	△ 2項「契 約書別 紙」→「重要 事項説 明書」	◎	○ 2項「事 業者の 営業時 間内に その事 業所内 で」	◎	○ 4項② 「または 被保険 者資格 を喪失 した場合」 の文言	◎	○ 「事業 者の使 用する 者」→ 「サー ビス従 事者」	◎	◎	◎	◎	◎	なし
2	◎	○ 段落分 けをし ている	△ 2項旧書 と3項 で旧措 置入所 者への 配慮	△ 2号「必 要に応 じて」→ 「利用 者の状 況に応 じて」。 3号で家 族への 説明同 意。	△ 1項「利 用者に 対し、入 浴・食 事・介 護・健康 管理及 び看護、 機能訓 練」。2 項「詳細 事項を【重要 事項説 明書】に 沿って」 の文言	◎	× モデル3 項（サー ビス記 録複写 物の交 付）なし	△ 1項で旧 措置入 所に 関する 規定	△ モデル2 項②の 内容を4 項とし て記載。 5項②に 「被保 険者資 格を喪 失した とき」の 文言	△ 必要と 援助と して「居 宅介護 支援事 業者と の連携」 「社会 資源に 関する 情報提 供」を明 記	(11条 として) △ 利用者 情報を 同意を 得た上 で事業 者が用 いる場 合があ ること を2項 に明記	(12条 として) ◎	(14条 として) △ 「事故 や災害 が発生 した場 合には」 の文言 挿入	(15条 として) ◎	(16条 として) ◎	(17条 として) ◎	10条「遺 留品受 け取り 条項」、 13条「金 銭管理 条項」



3	前文	○ 「利用者」 → 「入居者」	1 目的	◎	2 期間	◎	3 サービス計画	◎	4 サービス内容	○ 1 項に「居室」の言葉なし	5 サービス申請援助	◎	6 サービス提供記録	◎	7 料金	○ 2 項「事業者の営業時間内」	8 契約終了	× 2 項予告期間が 14 日。2 項③で背信行為列挙、④で入居者親族の背信行為列挙、⑤で報道・調査の制限禁止。	9 退所時援助	○ 「家族」 → 「親族」	10 秘密保持	× 2 項で同意あれば、入居者を外部に提供する可能性明記	11 賠償責任	○ 「財産」 → 「動産」	12 連絡義務	△ 「(入居開始時の意向確認に基づいて)」との文言挿入	13 相対応	◎	14 本契約に定める事項	◎	15 裁判管轄	◎	その他独自条項	なし
---	----	-----------------	------	---	------	---	----------	---	----------	-----------------	------------	---	------------	---	------	------------------	--------	--	---------	---------------	---------	------------------------------	---------	---------------	---------	-----------------------------	--------	---	--------------	---	---------	---	---------	----

4	前文	1 目的	2 期間	3 サー ビス計 画	4 サー ビス内 容	5 サー ビス申 請援助	6 サー ビス提 供記録	7 料金	8 契約 終了	9 退所 時援助	10 秘密 保持	11 賠償 責任	12 連絡 義務	13 相談 苦情対 応	14 本契 約に定 めのな い事項	15 裁判 管轄	その他 独自条 項
	◎	◎	△ 1項「第 8条に基 づく契 約の解 約又は 終了が ない限 り」の文 言挿入。 2項但書 で旧措置 置入所 者への 配慮。	△ 2項～4 項で計 画作成 時や実 施状況 把握の 際、把握 に面 接を行 う旨明 記。5項 で利用 者の希 望によ る軽微 な変更 の際に はこの 条項に 提らないこと が明記	△ 3項に身 体的拘 束の具 体例列 挙なし。 4項で拘 束時には説明 同意を得て記 録もと ることを明記。	◎	× モデル2 項(記録 の閲覧 場所・時 間)に該 当する 条項なし。	◎	× 3項②で 利用者 入院時 に契約 が自動 終了す る旨明 記。 2項但書 で旧措置 置入所 者への 配慮。	◎ (10条 として)	◎ (12条 として)	◎ (13条 として)	◎ (14条 として)	△ (15条 として) 2項で相 談苦情 等の内 容を2 年間記 録する 保管す る旨明 記	◎ (16条 として)	◎ (17条 として)	・9条(再 入所・受 け入れ 義務条 項) ・11条 「身元 引受人 条項」

5	前文	○「事業者」→「ホーム」	1 目的	○若干深いところ	2 期間	×	「利用者は契約の終了事由がない限り施設サービスを利用できます」との明記	3 サービス計画	(4条として) ×モデルと異なる内容で6項目挙(専門的なアセスメントに基づいて作成する、計画作成に変更に当たってはケアカンファレンスを開催するなど)	4 サービス内容	(5条として) ×身体拘束に関する条項なし。	5 サービス申請	なし	6 サービス提供記録	なし	7 料金	(6条として) ×料金の通知方法等について明記なし。領収証発行について明記なし。	8 契約終了	(8条として) ×モデル2項にある「30日間の予告期間」なし。4項③として「やむをえない事情により施設閉鎖する場合契約が自動終了となる」旨明記。	9 退所時援助	なし	10 秘密保持	なし	11 賠償責任	(10条として) ×但書部分で、利用者に故意または重大な過失がある場合、過失相殺する旨明記	12 連絡義務	なし	13 相対応	なし	14 本契約に定める事項	(11条として) ◎	15 裁判管轄	なし	その他独自項	・3条「要介護認定(自動)更新申請条項」 ・7条「利用料金の変更条項」 ・9条「安全配慮義務条項」
---	----	--------------	------	----------	------	---	-------------------------------------	----------	---	----------	---------------------------	----------	----	------------	----	------	---	--------	---	---------	----	---------	----	---------	--	---------	----	--------	----	--------------	---------------	---------	----	--------	---

6	前文	◎	1 目的	◎	2 期間	◎	3 サ ー ビス 計 画	◎	4 サ ー ビス 内 容	△ 身体拘束の具 体例の 列挙な し	5 サ ー ビス 申 請 援助	◎	6 サ ー ビス 提 供 記録	◎	7 料金	○ 4 項に「また は相談に応じ て、代理・後見 人に対し」の文 言	8 契約 終了	○ 2項⑤として「利 用者は第2項に 該当して契約 解除となっ た場合でも、 退院の見込み が発生した場 合には、希望 により再び滑 び入所するこ とができるも のとす る」と明記	9 退所 時援助	◎	10 秘密 保持	○ 1項「契約が終 了し利用者が 退所する際は」 の文言	11 賠償 責任	◎	12 連絡 義務	◎	13 相談 苦情対 応	◎	14 本契 約に定 めのな い事項	◎	15 裁判 管轄	◎	その他 独自条 項	なし
---	----	---	------	---	------	---	--------------------------	---	--------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---	--------------------------------	---	------	---	------------	---	-------------	---	-------------	--	-------------	---	-------------	---	-------------------	---	----------------------------	---	-------------	---	-----------------	----